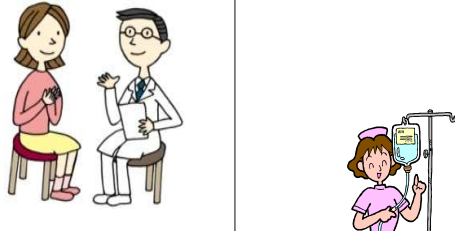


I D： 患者氏名： 様

	入院当日		入院翌日～化学療法前日		化学療法施行日		化学療法開始～		退院日																		
	月 日		月 日～ 月 日		月 日～ 月 日		月 日 ～ 月 日		月 日																		
目標	治療の経過が分かる				予定どおりに治療が終了する			症状出現時には適切な対処が受けられる。		退院時指導の内容が分かる																	
説明・指導	入院生活について説明します。 薬剤師より化学療法の薬剤について説明します。 予測される副作用および予防法・出現時の対処方法について説明があります。				点滴中、針の入っているところが痛くなったり、腫れたり、重苦しくなったら、すぐに教えて下さい。			体調の変化時はお知らせください。		退院指導（生活指導や次回外来再診日の連絡）を行います。（「がんの薬物療法を受けられる方へ」のパンフレットを使用し指導を行います。抵抗力が弱っているため退院後も感染予防（手洗い・うがい）が必要です。） 次回から利用する外来化学療法室のご案内・説明をします。 入院で化学療法を行うのは今回だけで、次回から外来化学療法に移行します。																	
治療 処置 点滴					抗癌剤は、膀胱癌に効果があるゲムシタビンとカルボプラチンという2種類の薬を使用します。 <table><tr><th colspan="3">スケジュール（1日目、8日目、15日目）</th></tr><tr><td>①</td><td>30分</td><td>デキサートという吐き気止めの点滴をします。</td></tr><tr><td>②</td><td>30分</td><td>ゲムシタビンという抗癌剤を点滴します。</td></tr><tr><th colspan="3">スケジュール（2日目）</th></tr><tr><td>①</td><td>30分</td><td>アロキシという吐き気止めの点滴をします。</td></tr><tr><td>②</td><td>1時間</td><td>カルボプラチンという抗癌剤を点滴します。</td></tr></table> 吐き気強い場合は、すぐに教えてください。症状により点滴や注射をして症状の改善を図ります。尿量が少ない場合は、利尿剤の投与を行います。			スケジュール（1日目、8日目、15日目）			①	30分	デキサート という吐き気止めの点滴をします。	②	30分	ゲムシタビン という抗癌剤を点滴します。	スケジュール（2日目）			①	30分	アロキシ という吐き気止めの点滴をします。	②	1時間	カルボプラチン という抗癌剤を点滴します。	《抗癌剤の主な副作用について》 発症時期による症状と対処方法について、以下のものがあげられます。 【投与直後から数時間】 発疹・発赤・顔のほてり・発熱・かゆみなどのアレルギー症状 → 抗アレルギー剤投与 【投与から1～2日後】 吐き気・嘔吐・食欲不振などの消化器症状 → 吐き気止めの注射、内服薬の投与 【投与から数日間経過してから】 白血球減少 → G-CSF製剤（白血球を増やす薬）を注射 貧血 → 輸血（頻度は稀です） 血小板減少 → 血小板輸血（頻度は稀です） 【投与から1～2週間経過してから】 脱毛 → かつらやバンダナなどを使用 味覚の変化 → 味付けの工夫、うがいや亜鉛製剤の内服	
スケジュール（1日目、8日目、15日目）																											
①	30分	デキサート という吐き気止めの点滴をします。																									
②	30分	ゲムシタビン という抗癌剤を点滴します。																									
スケジュール（2日目）																											
①	30分	アロキシ という吐き気止めの点滴をします。																									
②	1時間	カルボプラチン という抗癌剤を点滴します。																									
検査	入院後血液検査を行う場合もあります。							採血をして、骨髄抑制(白血球減少、貧血、血小板減少)の有無を確認します。 白血球減少が認められた場合は、G－CSF製剤(白血球を増加させる薬)を注射します。		採血をして、骨髄抑制(白血球減少、貧血、血小板減少)の有無を確認します。骨髄抑制が許容範囲内であれば退院となります。 白血球減少が認められた場合は、G－CSF製剤(白血球を増加させる薬)を注射し、退院が延期となることがあります。																	
内服	現在飲んでいる内服薬の確認をします。内服薬は基本的に継続内服とします。																										
食事	基礎疾患（糖尿病・高血圧など）に応じて、治療食をお出しすることもあります。				吐き気がでることがあります。食事内容を変更したいときはお申し出ください。 																						
生活・行動	自由に歩いてかまいません。		特に行動制限はありません。白血球数が減少すると抵抗力が弱くなるため、人ごみは避け、うがい・手洗いをしっかりと行い感染に注意してください。血液データに応じて日常生活行動の制限がある場合があります。					退院手続きが完了するまで、病室でおまちください。																			
清潔	シャワー浴ができます。		点滴治療中以外は、シャワー浴ができます。					退院後は入浴できます。																			
その他	入院後に熱が出た場合は、化学療法を延期していったん退院していただくことがあります。 入院に付き添いは必要ありません。		抗癌剤点滴開始初期（特に10分以内）に発疹や顔が赤くなってほてるなどのアレルギー症状が現れることがあります。 ほとんどは一時的なものでおさまりますが、症状が出現した場合は申し出て下さい。 					◎1コースを28日間として、以下のスケジュールで合計__コース行う予定です。 1コースの投与スケジュール <table><tr><td></td><td>1日目</td><td>2日</td><td>8日目</td><td>15日目</td></tr><tr><td>ゲムシタビン</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>カルボプラチン</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					1日目	2日	8日目	15日目	ゲムシタビン					カルボプラチン					
	1日目	2日	8日目	15日目																							
ゲムシタビン																											
カルボプラチン																											

注）予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。